

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	05-01-02-01
事務事業名	(仮称)備前市まちづくり基本条例策定事業		
事業開始年度	平成19年度		
総合計画	大項目 基本目標	住民主体の協働のまちづくり	問合せ先 担当課(室) 職・氏名 電話
	中項目 基本施策	住民主体で進めるまちづくり	
	小項目 施策	コミュニティ	
根拠法令・要綱等	(仮称)備前市まちづくり基本条例策定市民委員会設置要綱		
企画課			
協働推進係長	下林博樹		
電話	64-1806		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市民、市民活動団体
目的(何のために)	協働のまちづくりを推進するにあたり、まちづくりのルールを作成する。
行政活動(どのような方法で)	市民で構成された「(仮称)備前市まちづくり基本条例策定市民委員会」で条例案の作成
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	(仮称)備前市まちづくり基本条例を策定し、協働のまちづくりに資する。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	条例策定方法の検討・市民委員会準備				1
	直接事業費	千円			0
	人件費				969
	事業費計				969
	国県支出金				
	受益者負担	千円			
	市一般財源				969
	必要人員	人			0.11
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
条例策定方法の検討	説明			1	
結果指標	説明				
結果指標量					
対前年比	%			-	
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円				
結果指標	説明				
結果指標量	人				
対前年比	%			-	
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円				

事業の成果			
成果指標名	(仮称)備前市まちづくり基本条例策定	式又は説明	(仮称)備前市まちづくり基本条例策定
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比			
到達目標値	(仮称)備前市まちづくり基本条例策定	到達目標年度	平成21年度



事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	A
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	住民主体のまちづくりを進めるにあたっては、住民自治の仕組みをルール化する必要がある。そのための基本条例を市民参加のもと、策定する。	
	事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	対象を見直す必要がある	市民による調査研究、条例案策定を行うため、長い期間を要する。	
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	効率性評価<A~E>	C
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である		課題認識
市の関与	本市が関与しなければならない事業である	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	有効性評価<A~E>	C
	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		課題認識
効率性の評価	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	市民による調査研究、条例案策定を行うため、長い期間を要する。	
	サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	受益者負担額を見直す余地がある	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	有効性評価<A~E>	C
	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		課題認識
目的達成度	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	成果指標は前年度より向上している	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	成果は向上しており今後も向上の見込みである		
市民参画度	今後、成果指標は向上する余地がある	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	事業実施等で積極的に市民意見を反映している	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市民参加のもと、条例策定を進めるので策定途中においても、策定後においても有効性はたかく、条例策定により市民協働がより推進される。	
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	条例策定市民委員会を発足させ、条例の調査研究を始めた。
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	
結果指標量	1	結果指標量
成果指標量		(仮称)備前市まちづくり基本条例策定

総合評価		評価区分<A~E>	図表
策定準備段階のため事業効果は表れないが、市民にとって必要な事業であり、条例策定により市民協働がより推進される。		B	

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果